



2026年3月期 決算説明会資料

第26期（2025年4月1日～2026年3月31日）

2026年5月29日

株式会社アイフリークモバイル

証券コード：3845（東証スタンダード）





2026年 3 月期 決算概要

業績

■売上高 **1,865**百万円 ■営業利益 **29**百万円

売上高に関しては概ね予想通りの結果となるも、採用戦略の見直しをはじめとする販売費及び一般管理費全般の抑制が奏功したことを理由として、営業利益については予想を上回る。

事業

コンテンツ事業：

- ・「森のえほん館」のサービスを終了し、保有する絵本資産を「ポポキッズ」や「Netflix」などへ展開することにより保守運用コストの削減。
- ・AIコンテンツ開発の知見を活用した、プランティオ株式会社及び株式会社アイティフォーとの協業によるリアル連動型ソーシャルAI栽培アプリ「grow β」の共同開発。

DX事業：

- ・生成AI活用に特化した教育・研修体制の整備及びコンテンツ事業との連携を通じた生成AI領域における技術力の高度化と人材ポートフォリオの強化。
- ・商流改善、高単価案件の獲得及び高水準の稼働率維持を通じた、効率的な事業運営による収益基盤の拡大。

★ 2026年3月期 P/L 要約（非連結）

伝わる
つながる
広がる

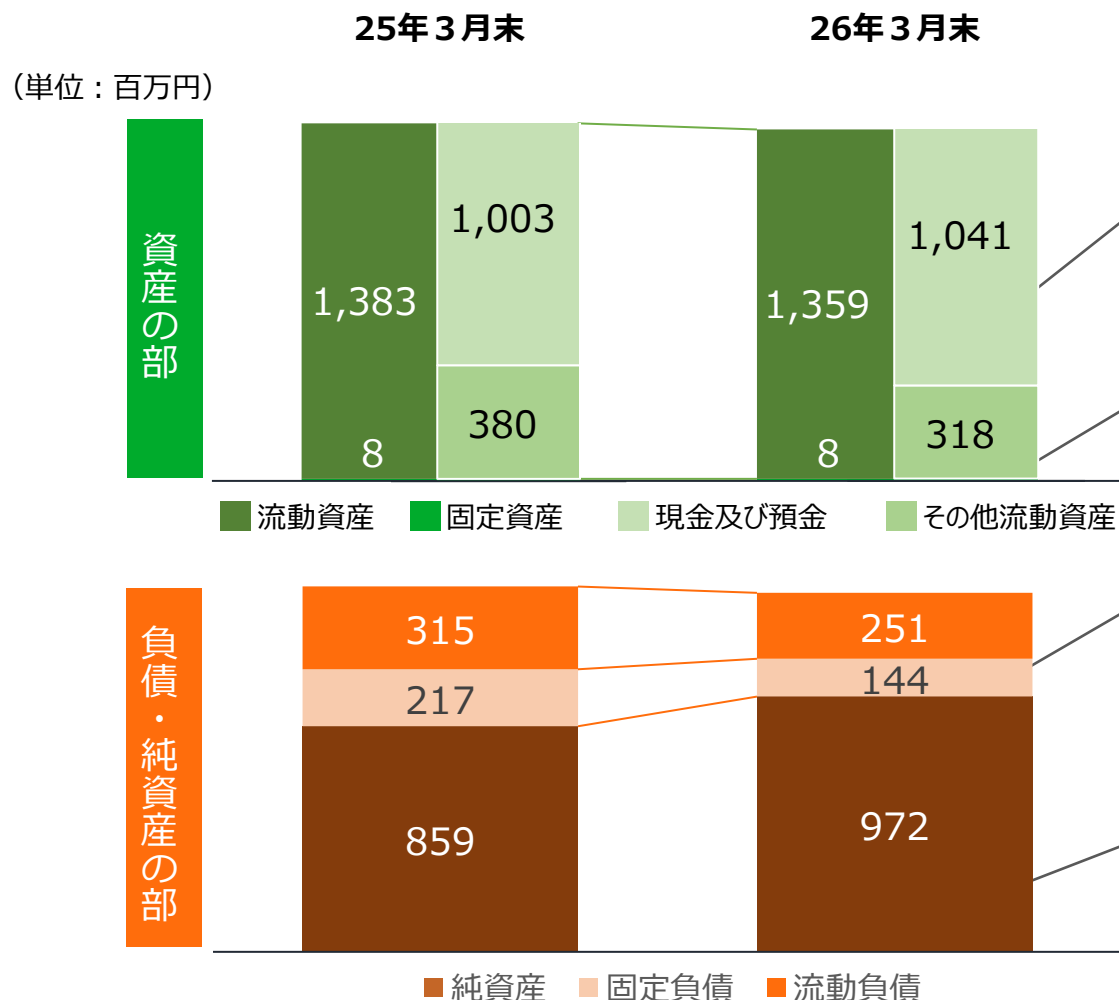
（単位：百万円）

	2026年3月期 実績	2025年3月期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	1,865	2,004	△139	△6.9%
売上総利益	466	509	△43	△8.5%
販売費及び一般管理費	436	571	△135	△23.7%
営業損益	29	△61	91	—
経常損益	32	△50	83	—
当期純損益	43	△110	153	—

★ 2026年3月期 B/Sの状況（非連結）

伝わる
つながる
広がる

B/S 2025年3月期末比較



【主な増減要因】

【流動資産】

現金及び預金：37百万円増加
 売掛金：69百万円減少
 貸倒引当金：9百万円減少

【固定資産】

有形固定資産：2百万円増加
 投資その他の資産：2百万円減少

【流動負債】

未払費用：25百万円減少
 未払消費税等：9百万円減少

【固定負債】

長期借入金：73百万円減少

【純資産】

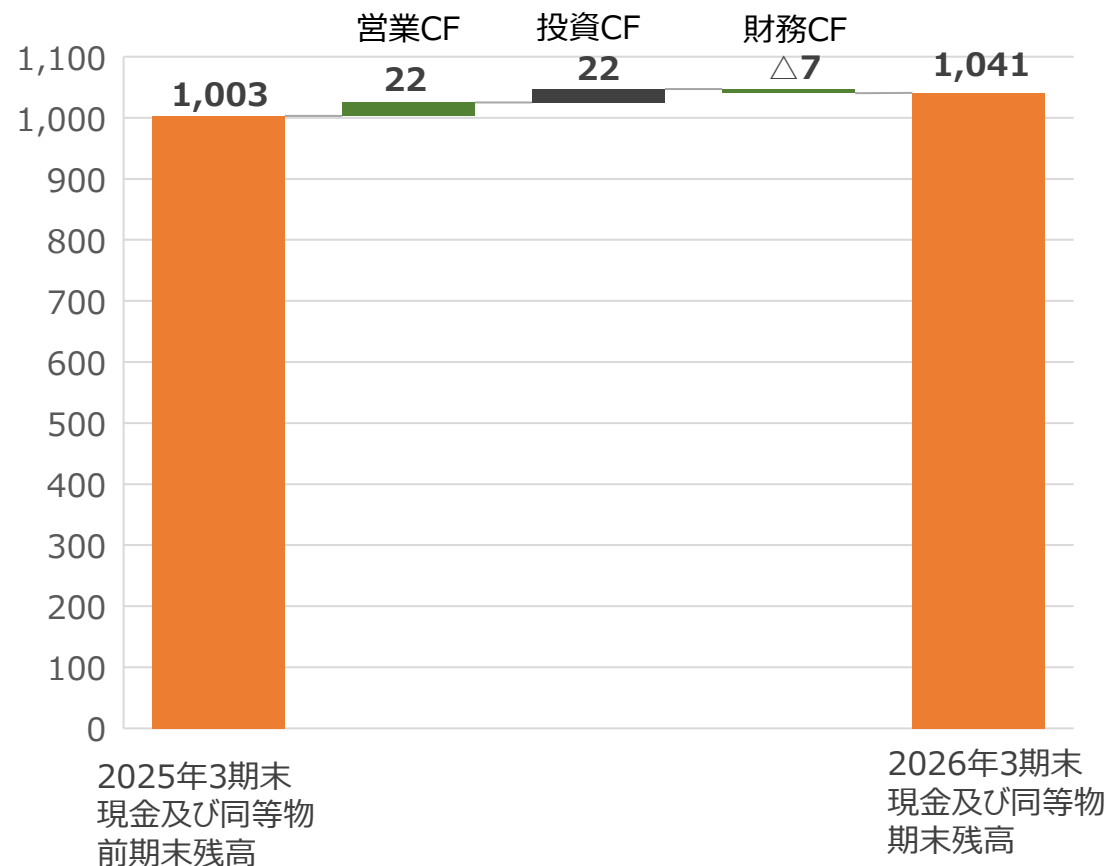
資本金：99百万円減少
 資本準備金：99百万円減少
 その他資本剰余金：269百万円増加

★ 2026年3月期 C/Fの状況（非連結）

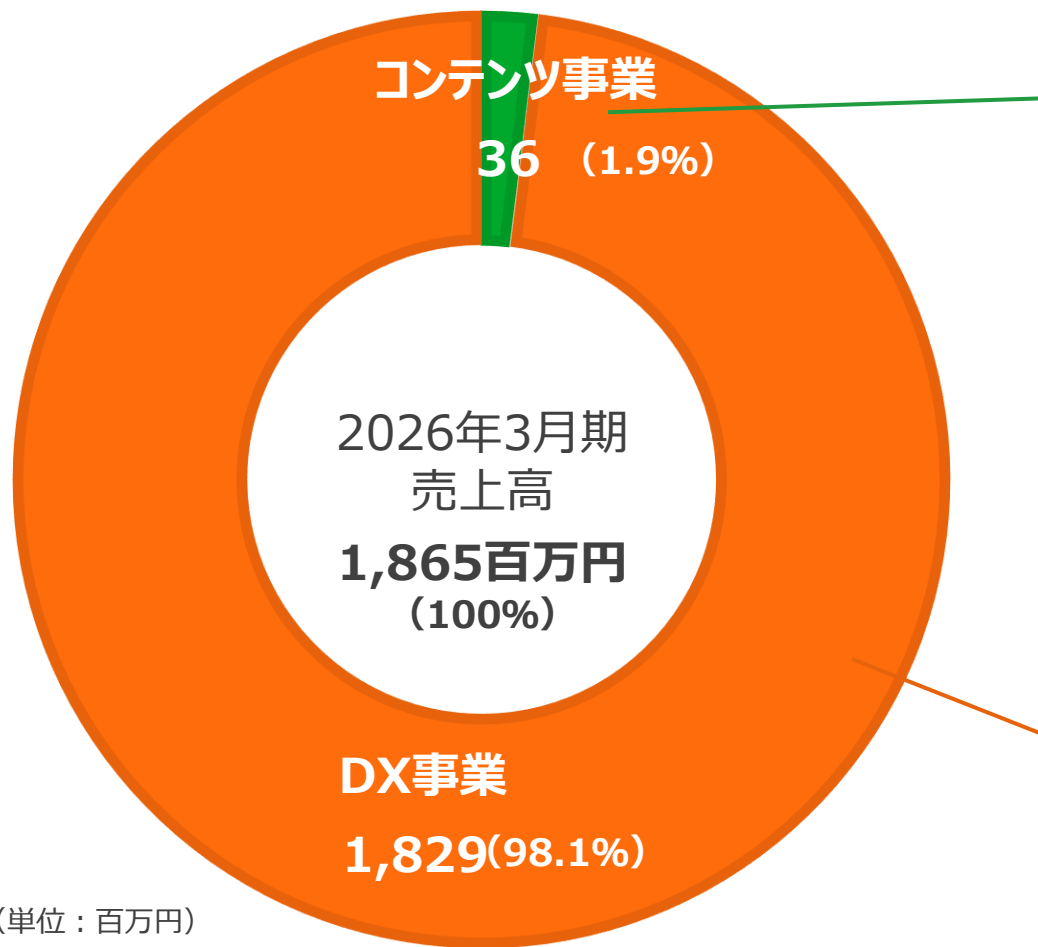
伝わる
つながる
広がる

単位：百万円

	2026/3期	2025/3期 (※ご参考)
営業活動CF	22	26
投資活動CF	22	△39
財務活動CF	△7	299
現金及び現金同等物 増減額	37	287
現金及び現金同等物 期首残高	1,003	522
連結子会社の合併による 現金及び現金同等物の 増減額	-	193
現金及び現金同等物 期末残高	1,041	1,003



【売上高構成比】



(単位：百万円)

【コンテンツ事業】

収益基盤の再構築と持続的な成長を目指し、事業ポートフォリオの見直し及び構造改革を推進。既存コンテンツ資産の収益拡大に取り組む。

【DX事業】

生成AI領域における技術力の高度化を図り、高付加価値案件に対応可能な人材ポートフォリオの強化。商流改善及び高単価案件の獲得に向けた継続的な取り組みにより、高水準の稼働率を維持。

業績と従業員の推移

伝わる
つながる
広がる

売上高・従業員数推移（上場～）

単位：百万円

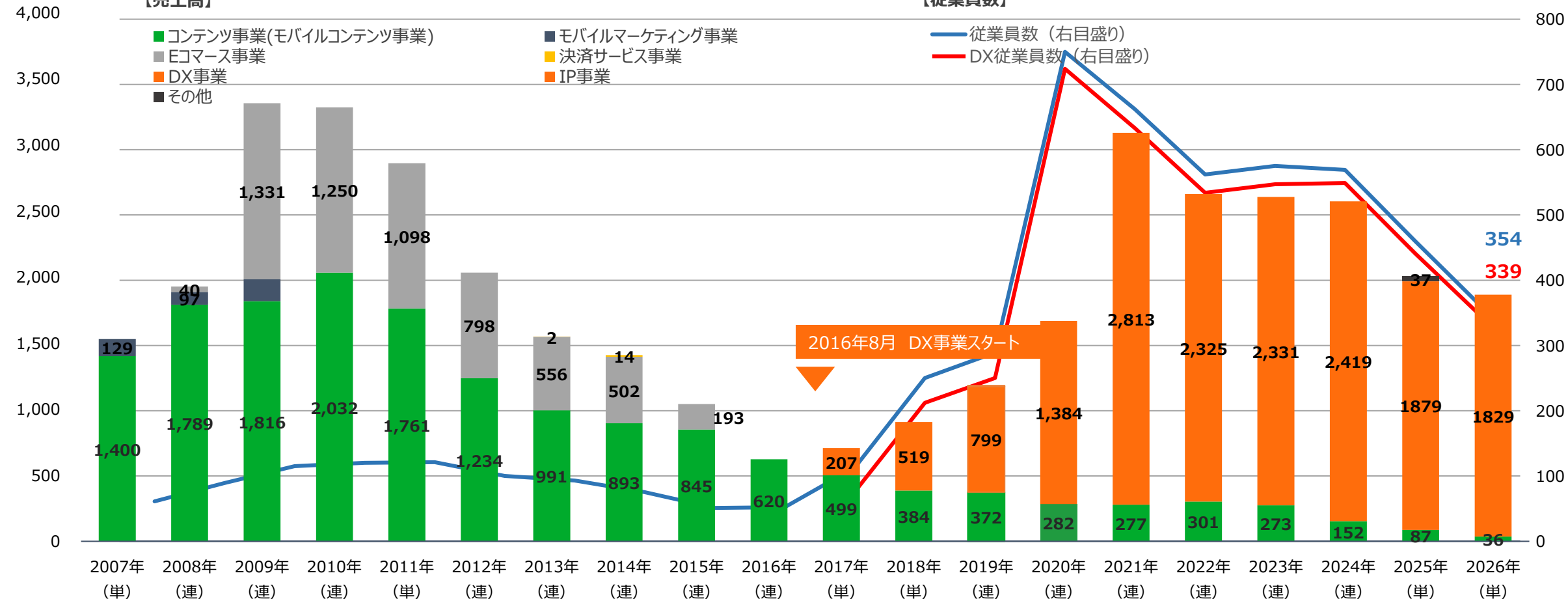
【売上高】

- コンテンツ事業(モバイルコンテンツ事業)
- モバイルマーケティング事業
- エコマース事業
- 決済サービス事業
- DX事業
- IP事業
- その他

【従業員数】

- 従業員数（右目盛り）
- DX従業員数（右目盛り）

単位：人



★ Topic:『森のえほん館』について

伝わる
つながる
広がる

電子絵本アプリ『森のえほん館』の提供を、
2025年7月をもって終了させていただきました。

電子絵本アプリ『森のえほん館』の提供を、
2025年7月をもって終了させていただきました。
『森のえほん館』で配信してきた絵本は、絵本
読み聞かせYouTubeチャンネル『ポポキッズ』
で引き続きお楽しみいただけます。

★ Popo Kids「ポポキッズ」 ★



★ Topic:ポポキッズの人気作品をNetflixで配信

伝わる
つながる
広がる

ポポキッズで人気の4作品を「ライトアニメ®」にし、
2025年10月からのNetflixでの国内独占配信が決定

時間や場所に縛られない読書機会の提供を通じてお子様の感受性を豊かにしたい、という当社の想いをさらに広く届けるため、大日本印刷株式会社が独自開発した「ライトアニメ®」手法を活用してポポキッズの人気絵本をアニメ化し、Netflixで国内独占配信するという新たな取り組みを行いました。



★ Topic:絵本の制作と寄贈をサポート

伝わる
つながる
広がる

みずほフィナンシャルグループの金融経済教育絵本 「ひらめきモモタロウ」の制作と寄贈をサポート

株式会社みずほフィナンシャルグループの「若い世代にも楽しみながら金融を学べる機会を提供したい」という想いで企画された金融経済教育に繋がる絵本「ひらめきモモタロウ～お金と知恵で解決!? 鬼ヶ島の改造計画～」の制作と全国の小学校（約 3,000 校）への寄贈に関するサポートを行いました。



★ Topic: 報告セグメントの変更について

伝わる
つながる
広がる

2027年3月期第1四半期より「コンテンツ事業」と「DX事業」を統合し、報告セグメントを「DX事業」へ一本化します。

これまでDX事業のエンジニアが生成AI技術を活用し、コンテンツ事業のアプリ開発を担うなど、部門横断的な体制でシナジーを創出してまいりました。今後は両事業を統合することで、経営資源の最適配分と意思決定の迅速化を図り、さらなる成長の加速と収益性の向上、企業価値向上に努めてまいります。

2026年3月期（旧体制）



2027年3月期1Q（新体制）





2027年3月期 事業計画

DX事業

生成AI、データサイエンス、クラウドコンピューティング等、専門領域に特化したエンジニアの育成を進めながら、商流改善を行い、高単価案件を獲得

コンテンツ制作、IP活用、アプリ開発、生成AI実装を組み合わせたサービス提供の体制構築

2027年3月期よりコンテンツ事業とDX事業の両事業を「DX事業」へと統合いたします。

★ 2027年3月期 業績計画

伝わる
つながる
広がる

	2027年3月期			2026年3月期 実績
	計画	増減額	増減率	
売上高	1,670	△195	△10.5%	1,865
営業利益	△11	△40	－	29
経常利益	△13	△45	－	32
当期純利益	1	△42	△97.7%	43
1株当たり配当金	0円00銭 (※)	－	－	0円00銭

(※) 当社の財務状況等を総合的に勘案し無配とさせて頂く予定ではありますが、安定的な収益体質の確立により、早期の復配を目指してまいります。

(単位：百万円)

事業戦略：DX事業が目指す方向

伝わる
つながる
広がる

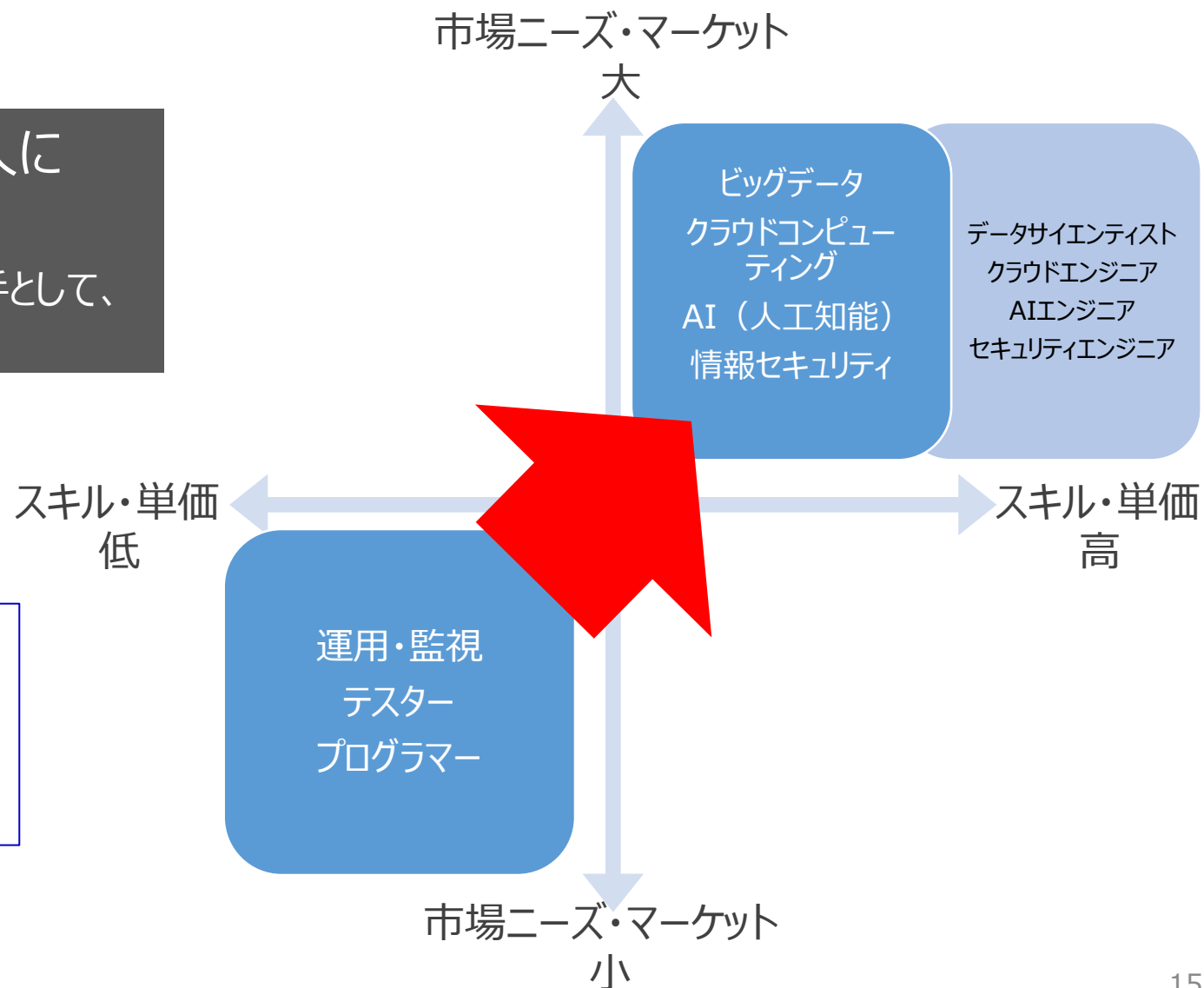
現在のIT業界が抱える課題

日本の2030年のIT人材不足は約79万人に
(主な理由：少子高齢化、技術進化のスピード等)

また、第4次産業革命に対応した新しいビジネスの担い手として、
IT人材の重要性がますます高まっている。

出典：みずほ情報総研株式会社「IT 人材需給に関する調査（2019年3月）」

ビッグデータ、AI、セキュリティ等、近年高い注目を集めている
先端的な技術・サービスの登場により、今後もさらにIT利活用の
高度化・多様化・複雑化が進展することが予想され、中長
期的にもITに対する需要は引き続き増加する可能性が高いと
見込まれる。



テーマの異なるプロフェッショナルチームの育成

AI

クラウドコン
ピューティング

アプリ開発

データ
分析

セキュリティ

テスト

教育専任の講師
による社内研修

研修修了者の
顧客先PJ参入

ノウハウをもった
プロチームの確立

外部企業との協
業・専門性の高い
サービスの提供

システムエンジニアリングサービスを基盤に コンテンツソリューションの収益化により永続的成長を実現



※2026年3月期売上

COPYRIGHT © I-FREEK MOBILE INC. ALL RIGHTS RESERVED.

本資料は、今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は注記のない限り2026年3月31日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。